据え付けについて

据付工事や電気工事は専門の技術が必要ですので，販売店に依頼してください。（据付工事や電気工事は有料です。）据付場所の選定や電源の取りかたについては，販売店と相談して決めてください。また，この製品には，静電気による帯電やノイズを吸収するためにアース棒を同梱してあります。アース工事がされていることを確認してください。なお，法規で定められたアース工事については，「■アースについて」の項を参照ください。

■据付場所

- 除湿水排水ホースから除湿水が出ますので，水はけのよい場所をお選びください。
- 室内ユニットおよびリモコンはテレビやラジオから１ｍ以上離してください。
  映像の乱れや雑音が入る場合があります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところや，蒸気・油煙などの発生するところはさけてください。
- 温泉地など硫化ガスの発生するところ，海辺地区で潮風があたる場所などに据え付ける場合は，腐食などにより故障の原因になることがありますので，お買い上げの販売店にご相談ください。

■騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては，エアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で，騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと，機能低下や騒音増大のもとになりますので，吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンをご使用中に異常な音がする場合などは，お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源について

- 電源は，配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

■アースについて

- 万一漏電したときの感電防止のために，アースをしてください。
  特に湿気の多いところに据え付けるときは，法規で定められたアースをすることが義務づけられています。
  詳しくは，お買い上げの販売店にご相談ください。（アース工事は有料です。）

- 次のようなところにアース線を接続しないでください。

  ①水道管
  プラスチック部があり，アースの役目をしません。

  ②ガス管
  爆発のおそれがあり危険です。

  ③電話線のアースや避雷針
  落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

- 漏電遮断器について
  水気の多いところに据え付ける場合は，アースのほかさらに漏電遮断器を設置することが法規で義務づけられています。
  詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

形　　名	セパレートマルチ181BW
購入年月日	年　　月　　日
購入店名	TEL.

日立家電販賣株式會社
〒105 東京都港区西新橋２丁目15番12号
電　話（03）502－2111

日立冷熱株式會社
〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電　話（03）255－7271

株式會社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋２丁目15番12号
電　話（03）502－2111

Hitachi Printing RAM-181BW Ⓔ

取扱説明書

日立ルームエアコン

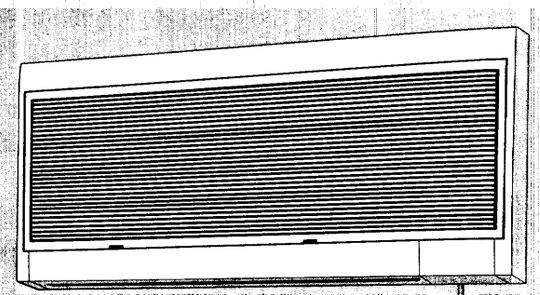
HITACHI
上手に使って上手に節電

冷房/暖房/センサードライタイプ〈セパレート壁掛形〉

DC inverter

室内ユニット　　室外ユニット
RAM-181BW形＋RAC-361BHM2形

セパレートマルチ



とじて保存しましょう

このたびは日立ルームエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり，正しくお使いください。

お読みになったあとは，保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

目　次

- 据え付けについて……裏表紙
- 特　長……1
- 安全のため特に注意していただきたいこと……2
- 各部の名称と働き……3～4
- 運転のしかた……5～14
  - 1暖房運転……5～6
  - 2冷房運転……7～8
  - 3センサードライ運転……9～10
  - 4タイマーのセットのしかた……11～12
  - 5風向調節のしかた……12
  - 62室同時運転について……13
  - 7運転モード切換えについて……14
- 知っておいていただきたいこと……15
  - 停電したときは，落雷のおそれのあるときは……など
- 上手な使いかた……16
- お手入れについて……17
- シーズン前のお手入れ……18
- 仕　様……18
- アフターサービスと保証について……19～20

特　長

●冬・夏そして梅雨どきと長い期間使える……ワイドシーズンタイプ

季節に応じて，暖房・冷房・センサードライ運転ができます。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暖　房				センサードライ	冷　房			センサードライ		暖房	

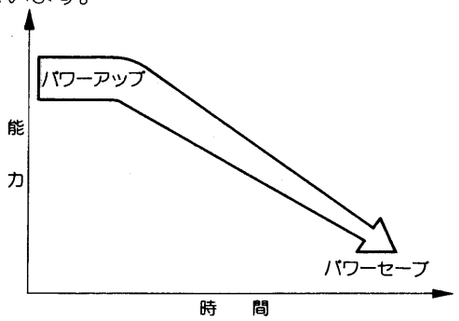
暖房運転　外気の熱（ヒート）をくみあげて（ポンプ）暖房を行うヒートポンプ暖房と補助ヒーターで部屋を暖めます。
部屋がじゅうぶん暖まると，自動的に補助ヒーターをストップ。あとはヒートポンプ暖房で効率のよい運転をします。

冷房運転　部屋の熱をくみあげて，その熱を室外へ放出して部屋を冷房します。

センサードライ運転　梅雨どきなどジメジメしてうっとうしいときに，センサーの働きで室温をほとんど変えず部屋をカラッと除湿します。

●部屋の温度に応じて暖房あるいは冷房能力を自動制御……能力自動制御

暖房運転開始時など室温が低いときは圧縮機の回転を高速にして暖房能力をアップ，お部屋の温度が高くなると自動的に圧縮機の回転を低速にし，暖房能力を押えた効率のよい運転を行います。
したがって一般のエアコンに比べて断続（運転・停止の繰り返し）が少なくなりますので，室温の変動が少なく，快適で省エネにも優れた暖房を行います。
冷房時は，暖房とは反対に，室温が高いときは冷房能力をアップ，快適室温に近づくと冷房能力を押えた効率のよい冷房運転を行います。



●部屋の明暗を感知して，快適さと経済性をコントロールする……光センサー

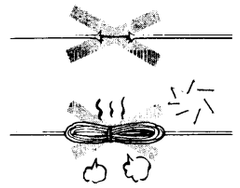
おやすみ運転　睡眠に適した温度になるよう，自動的に温度調節を行うのが〝おやすみ運転〟です。
夜，おやすみになるとき，タイマーで停止時間をセットし，部屋の照明を消しますと，光センサーがおやすみになったことを感知。冷房時あるいはセンサードライ時は高めの冷房，ドライを，暖房時は低めの暖房を行います。（詳しくは☞12ページ）

安全のため特に注意していただきたいこと

電源は単相200V（ボルト）

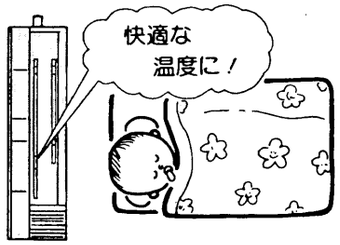
単相200Vの電源でお使いください。
まちがえますと電気部品が過熱したり，焼損する原因になります。

電源配線はていねいに



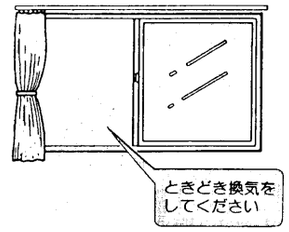
電源配線はていねいに扱ってください。
また，配線締付ねじ部にゆるみがないか確認してください。
締付けがゆるかったり，配線がいたみますと焼損や漏電のおそれがあり危険です。

暖め過ぎ・冷やし過ぎにご注意を



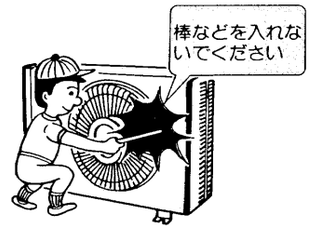
室温調節にご注意ください。
特に身体のご不自由な方や，乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方などがいる部屋で使う場合は，周囲の方が常に注意して風向きや快適な室温になるよう調節してあげてください。

ときどき換気を



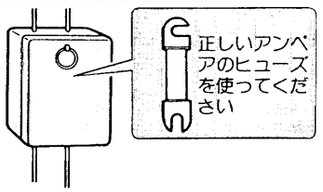
運転中はときどき換気をしてください。
特にガス器具といっしょに使用するときはご注意ください。

棒などを入れないで



室内・室外ユニットの吸込口，吹出口に細い棒などを入れないでください。
ファンが高速で回転しており大変危険です。

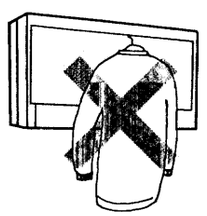
ヒューズは正しいアンペアのものを



正しいアンペアのヒューズを使ってください。
ヒューズが切れたときは，正しいアンペアのヒューズと交換し，針金や銅線などを使用しないでください。火災などの原因になります。

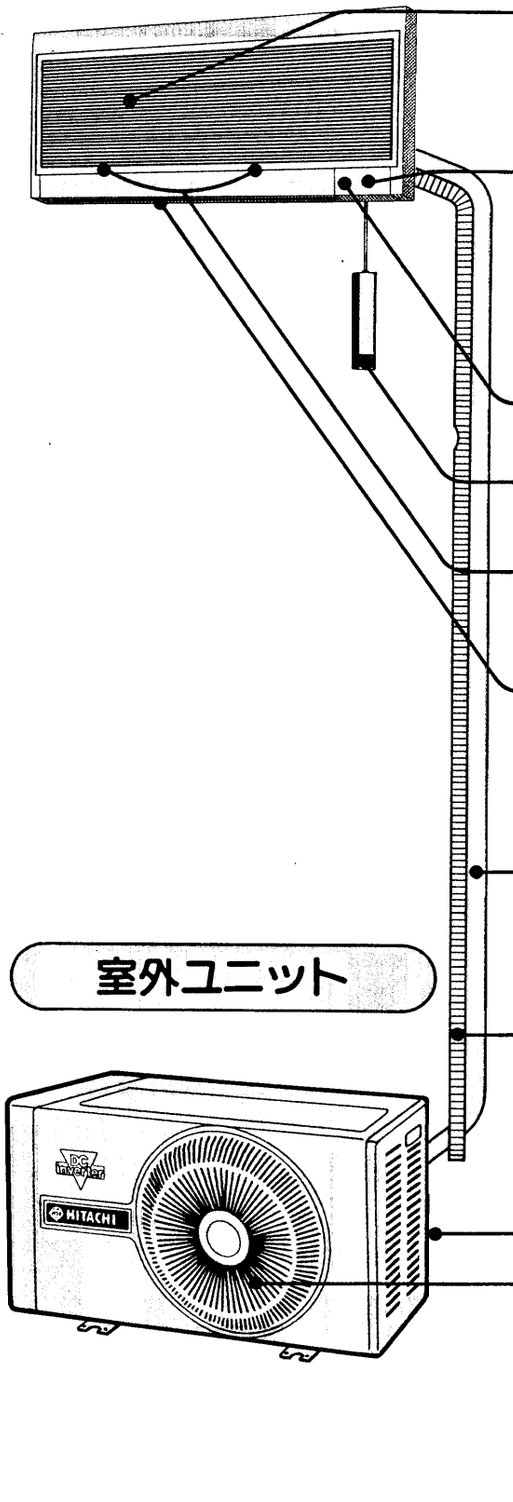
暖房運転時のご注意

●空気吹出口や室内ユニット前面に障害物を置かないでください。
温風吹出口や風向板が変形する原因になります。
●温風吹出口の近くには，温風で変形するものは置かないでください。



各部の名称と働き

室内ユニット



吸込口

電源スイッチ
（詳しくは☞5，7，9ページ）

表示部
運転状態をランプでお知らせします。

コントローラー
（詳しくは☞右ページ。）

フィルター
空気中のホコリがエアコン内部に入るのを防ぎます。

風向調節板(吹出口)
上下・左右の風向きを調節します。
（詳しくは☞12ページ）

配管と接続電線

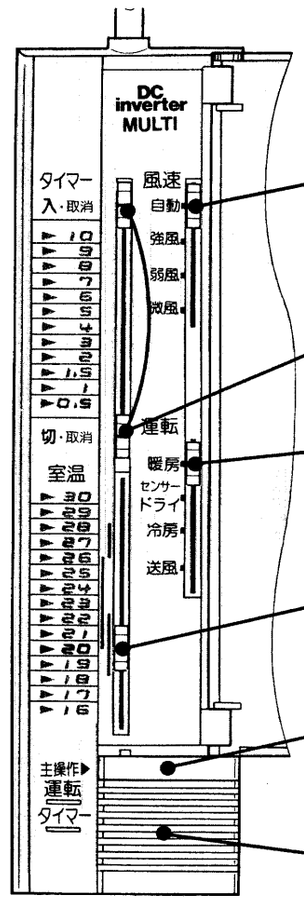
室外ユニット

除湿水排水ホース
除湿水を室外へ排水します。（冷房運転・センサードライ運転時）

吸込口(背面)

吹出口
冷房時・センサードライ時は温風を，暖房時は冷風を吹き出します。

コントローラー



風速切換つまみ
お好みの風速を選びます。

タイマーつまみ
タイマー運転の時間設定を行います。

運転切換つまみ
運転の種類を選びます。

室温調節つまみ
室温調節を行います。

主操作ボタン
運転，タイマー運転および停止を行います。

センサー
室温をここで感知します。

コントローラー使用上の注意

●各つまみは〝カチッ〟と手ごたえのある位置に止めてください。
それ以外の位置に止めますと，正しいセットができません。

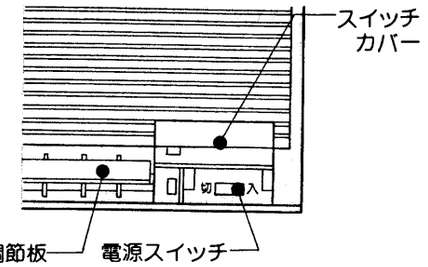
●次のような温度が高くなるところに置かないでください。
正しい運転ができなくなることがあります。
- 直射日光のあたるところ
- ストーブの近くなど

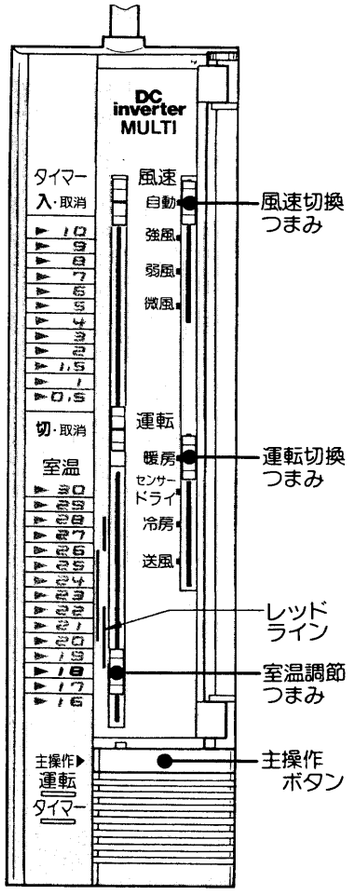
●室外ユニットが運転を停止しますと，約3分間は運転を再開しません。(電源スイッチを入・切したときを除く。)
これは機械を保護しているためで故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。

●運転中に「運転切換つまみ」を切換えますと保護回路の働きで約3分間運転を停止することがあります。(詳しくは☞14ページ)

1 暖房運転

準備 ●ブレーカーや手元スイッチなどを〝入〟にします。
●スイッチカバーをあけて電源スイッチを〝入〟にします。
●風向調節板を暖房の位置にします。
（詳しくは☞12ページ）





1 運転切換つまみ

〝暖房〟にセットします。

2 室温調節つまみ

お好みの位置にセットします。

レッドラインの〝18～22〟が暖房時に適した使用範囲です。
〝18〟にセットすれば部屋の温度はほぼ18℃になります。
なお，セットした数字と部屋の温度は，使用環境によって多少異なることがあります。

3 風速切換つまみ

お好みの位置にセットします。

〝自動〟にしますと吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。
なお，〝強風〟または〝弱風〟にセットしても，運転開始時は肌寒さを防ぐため，微風でスタートします。

4 主操作ボタン

一度押します。

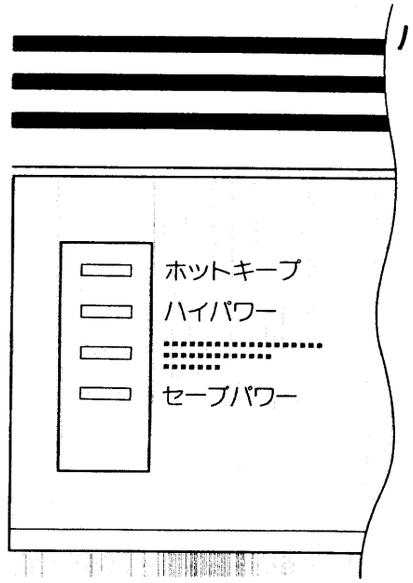
運転ランプが点灯します。
（部屋の温度よりセットした温度が低い場合は，暖房運転をしません。（運転ランプは点灯します。）
セット温度を高くしますと運転を開始します。）

タイマーをセットしたいときは
「タイマーのセットのしかた」（☞11ページ）の1・2の操作を続けてください。

ご注意

●外気温度21℃以下でお使いください。
（外気温度が21℃を越えると，保護装置が働いて室外ユニットが停止することがあります。）

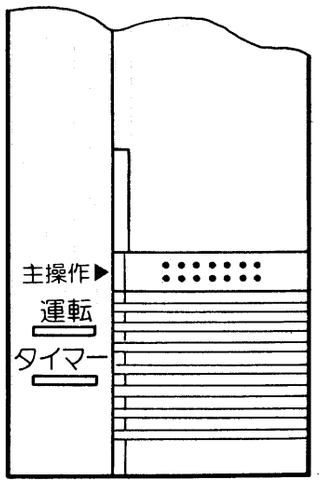
暖房運転中は，次のランプが点灯します。



本体表示部

パワーモニター：暖房運転時の圧縮機の運転状況をお知らせします。
パワーモニターが多く点灯しているときは圧縮機を高速で運転し，パワーアップ暖房を必要としていることを，反対に少ないときは低速で効率の良い暖房運転をすることを表わします。
従って通常は室温が上昇するにつれパワーモニターの点灯は少なくなります。
なお，室温が設定温度に達し，暖房運転が停止しますとパワーモニターは消えます。

ホットキープ：次のときに点灯します。点灯中は風が出ません。
これは送風による肌寒さを防ぐためで，しばらくしますと暖かい風が吹き出します。
①予熱中
運転開始直後の約2～6分間
②霜取中
室外ユニットの熱交換器に霜がつきますと，霜取りを行います。霜取りの頻度は，約60分に1回，1回の霜取り時間は5～10分程度です。
③部屋の温度がセットした温度に達し，暖房運転が停止したとき。



コントローラー

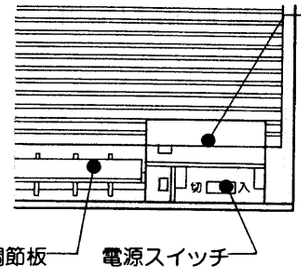
運　転：運転中であることをお知らせします。

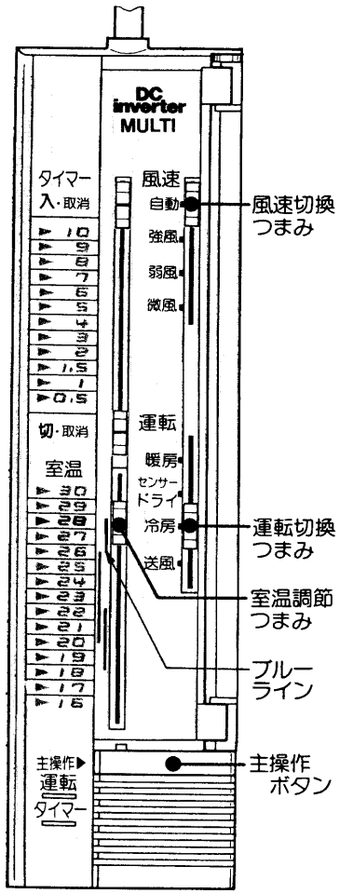
タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

2 冷房運転

準備

- ブレーカーや手元スイッチなどを〝入〟にします。
- スイッチカバーをあけて電源スイッチを〝入〟にします。
- 風向調節板を冷房の範囲にします。
（詳しくは☞12ページ）





運転切換つまみ

1 **〝冷房〟にセットします。**

室温調節つまみ

2 **お好みの位置にセットします。**

ブルーラインの〝26～28〟が冷房時に適した使用範囲です。
〝28〟にセットすれば部屋の温度はほぼ28℃になります。
なお，セットした数字と部屋の温度は，使用環境によって多少異なることがあります。

風速切換つまみ

3 **お好みの位置にセットします。**

〝自動〟にするとスタートは〝強風〟で，セットした温度になると〝弱風〟に自動的に変わります。

主操作ボタン

4 **一度押します。**

運転ランプが点灯します。

（部屋の温度よりもセットした温度が高い場合は，冷房運転をしません。（運転ランプは点灯します。）
セット温度を低くしますと運転を開始します。）

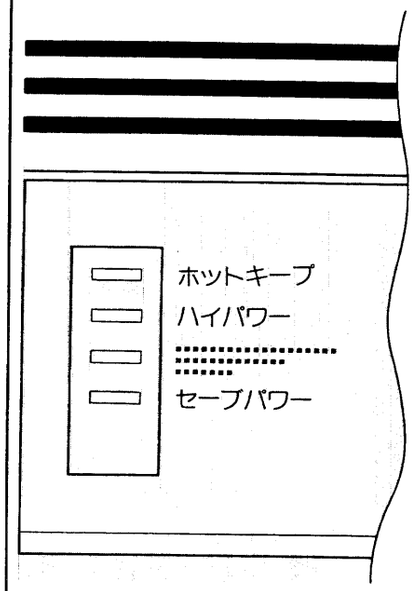
タイマーをセットしたいときは

「タイマーのセットのしかた」（☞11ページ）の1・2の操作を続けてください。

ご注意

- **外気温度43℃以下でお使いください。**
  （外気温度が43℃を越えると，保護装置が働いて室外ユニットが停止することがあります。）

冷房運転中は，次のランプが点灯します。

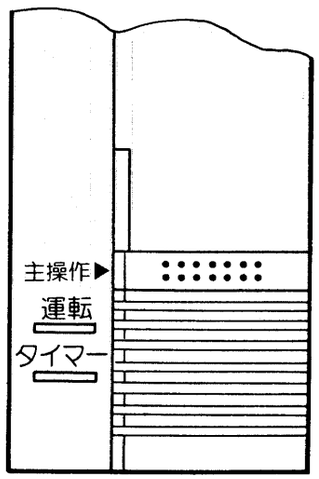


本体表示部

パワーモニター：冷房運転時の圧縮機の運転状況をお知らせします。

ハイパワー
セーブパワー

パワーモニターが多く点灯しているときは圧縮機を高速で運転し，パワーアップ冷房を必要としていることを，反対に少ないときは低速で効率の良い冷房運転をすることを表わします。
従って通常は室温が低下するにつれパワーモニターの点灯は少なくなります。
なお，室温が設定温度に達し，冷房運転が停止しますとパワーモニターは消えます。



コントローラー

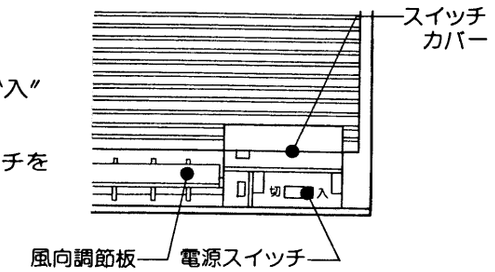
運　　転：運転中であることをお知らせします。

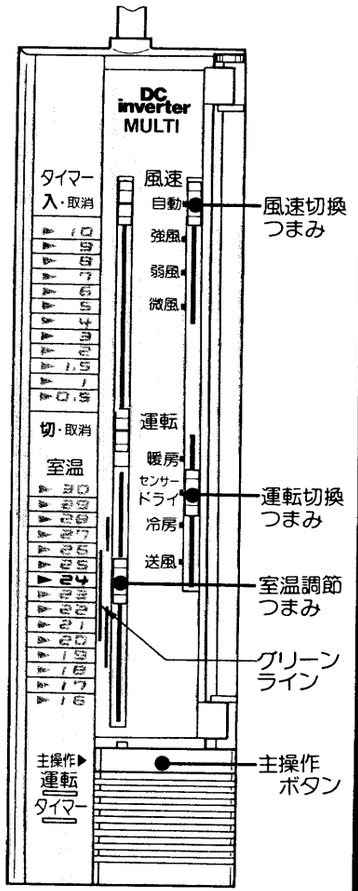
タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

3 センサードライ運転

準 備

- ブレーカーや手元スイッチなどを〝入〟にします。
- スイッチカバーをあけて電源スイッチを〝入〟にします。
- 風向調節板をドライの範囲にします。
  （詳しくは☞12ページ）





運転切換つまみ

1 **〝センサードライ〟にセットします。**

室温調節つまみ

2 **お好みの位置にセットします。**
グリーンラインの〝20～26〟がドライ時に適した使用範囲です。（詳しくは☞右ページ「センサードライ運転のしくみ」）

風速切換つまみ

3 **どの位置にセットしても微風運転になります。**

主操作ボタン

4 **一度押します。**
運転ランプが点灯します。

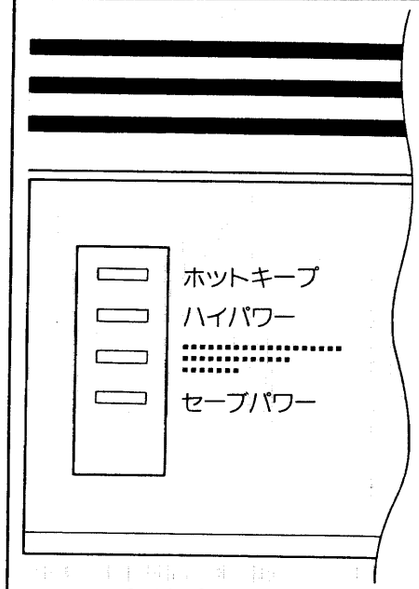
タイマーをセットしたいときは

「タイマーのセットのしかた」（☞11ページ）の1・2の操作を続けてください。

ご注意

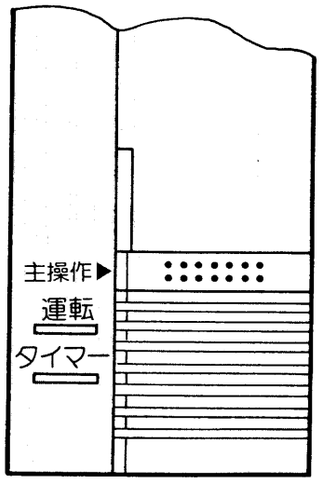
- **外気温度43℃以下でお使いください。**
  （外気温度が43℃を越えると，保護装置が働いて室外ユニットが停止することがあります。）

センサードライ運転中は，次のランプが点灯します。



本体表示部

パワーモニター：室温が設定温度より約3℃以上高いときはパワーモニターは2個点灯しますが通常は圧縮機が最低速で運転しますのでパワーモニター点灯は1個となります。
なお，センサードライ運転が停止しますとパワーモニターは消えます。



コントローラー

運　　転：運転中であることをお知らせします。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

センサードライ運転のしくみ

センサードライ運転は，お部屋の温度が16℃以上のときに運転を行います。
お部屋の温度がセット温度より低いときは室温調節つまみのセットに関係なく自動的にお部屋の温度より少し低い温度がセット温度になります。また断続運転の運転開始時に室外ユニットが運転しても約30秒程室内ユニットから風が出ません。これは除湿効果を高めるためです。そのままお待ちください。

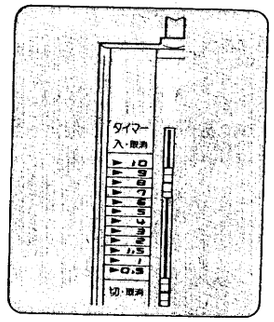
4タイマーのセットのしかた

1 停止 ➡ 運転 （お望みの時間に運転を開始させたいとき。）

1 入つまみをお望みの時間に，
切つまみを〝切・取消〟にセットします。

2 主操作ボタンを押してタイマーランプを点灯させます。

●図のようにセットしますと，約8時間後に運転を開始します。

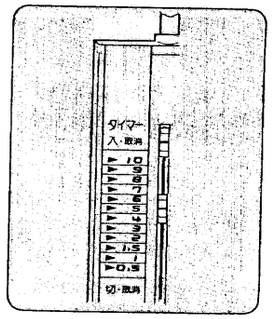


2 運転 ➡ 停止 （お望みの時間に運転を停止させたいとき。）

1 切つまみをお望みの時間に，
入つまみを〝入・取消〟にセットします。

2 主操作ボタンを押してタイマーランプを点灯させます。

●図のようにセットしますと，約5時間後に運転を停止します。

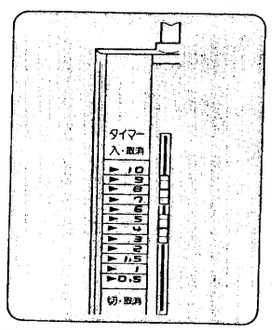


3 運転 ➡ 停止 ➡ 運転 （お望みの時間に運転を停止し，再び運転させたいとき。）

1 切つまみと入つまみをお望みの時間にセットします。

2 主操作ボタンを押してタイマーランプを点灯させます。

●図のようにセットしますと，約4時間後に停止し，約8時間後（停止したあと4時間後）に運転を開始します。



セットした時間を変更したいとき

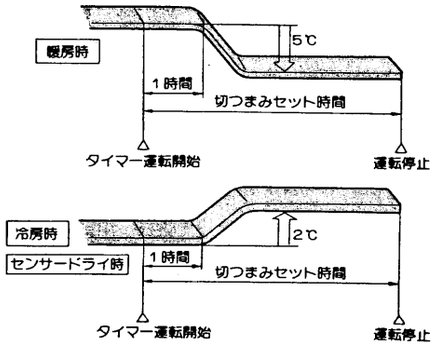
主操作ボタンを押して〝停止〟にし，入・切つまみをお望みの時間にセットしなおします。これは，タイマーの記憶（前のセットから経過した時間の記憶）をゼロにするためです。セット後，主操作ボタンを二度押してタイマーランプを点灯させます。

次のようなときは自動的に〝おやすみ運転〟を行います。

夜，おやすみになるとき，停止時間をセットしてタイマー運転を行い，部屋の照明を消しますと，光センサーの働きで，自動的に〝おやすみ運転〟を行います。
（なお，蛍光灯の保安球程度の明るさは，点灯しておいても，〝おやすみ運転〟になります。）

〝暖房〟時 睡眠に適した温度になるよう，セットした温度よりも自動的に5℃下げた運転を行います。

〝冷房〟時 **〝センサードライ〟時** 睡眠に適した温度になるよう，セットした温度よりも自動的に2℃上げた運転を行います。



5 風向調節のしかた

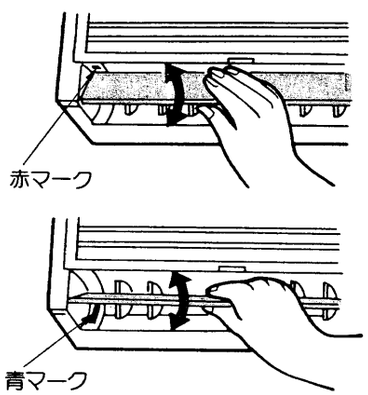
1 上下の風向調節

〝暖房〟の場合

上下風向調節板を垂直にするか，赤マークの位置にセットします。
温風が下に吹き出します。

〝冷房〟〝センサードライ〟の場合

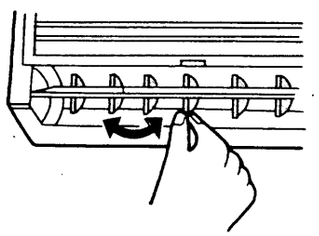
上下風向調節板を青マークの範囲で使います。



●風呂上がりなど冷気を直接肌に当てたいときは，一時的に垂直または赤マークの位置で使うこともできます。ただし，長時間この状態で使いますと，上下風向調節板に露がつき，滴下することがありますので，必要のないときは青マークの範囲にもどしてください。

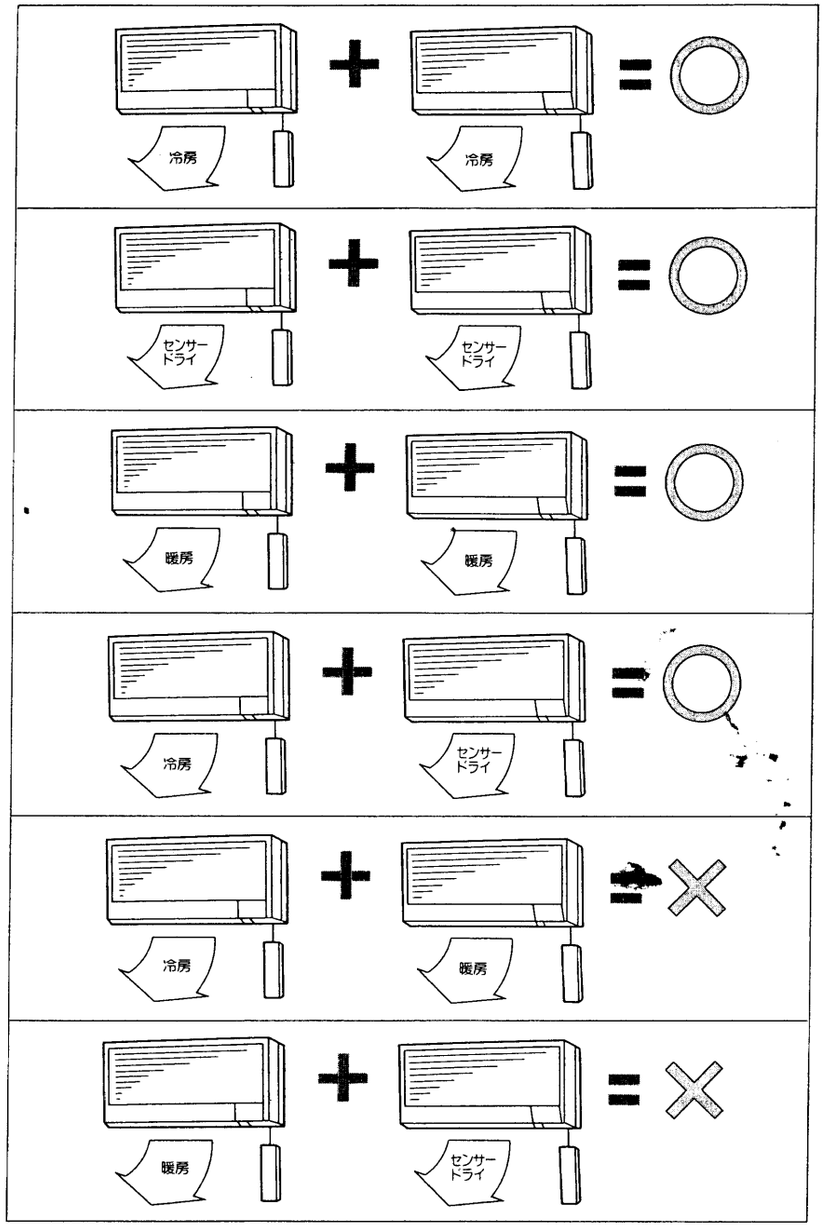
2 左右の風向調節

図のように持って左右に調節してください。



6 2室同時運転について

●下記の組合せで○は2室同時運転可能，×は同時運転不可能な運転モードの組合せです。
●「送風」はどの運転モードとも組合せ同時運転可能です。



●×の運転モード組合せは正常な運転が出来ません。2室をこのような運転モードに組合せた同時運転は行わないでください。
●2室同時運転で能力の足りない場合は，はじめに1室だけ運転してから他室を運転するなど，切換え運転を行うと，はやく冷(暖)房できます。

7 運転モードの切換えについて

1室運転しているユニットの運転モードを切換える場合

● 冷房 ， 暖房 ， センサードライ 運転中のユニットを他の運転モードに切換えますと，圧縮機をいったん停止し，3分後に切換え後の運転モードで運転されます。

1室を運転中，他室のユニットを異った運転モードで運転した場合

●前頁（13ページ）の表のように， 冷房 と センサードライ のみ同時運転されます。他の× の組合せになるときは，先に運転していたユニットも，後から運転したユニットも正常な運転ができなくなることがあります。

2室を同じ運転モードで運転中，1室のみ異った運転モードに切換えた場合

●2台とも 冷房 運転中1台を センサードライ に切換えたとき， および2台とも センサードライ 運転中1台を 冷房 に切換えた場合は，3分後切換えたユニットのみが切換え後の運転モードになります。
その他の場合は，切換えたユニットは正常な運転を行いません。

ご注意
●運転したユニットのパワーモニターランプが点灯しなかったり，いつまでも冷(暖)房されないような場合には，他室のユニットが異なった運転モードで運転されていないかお調べください。

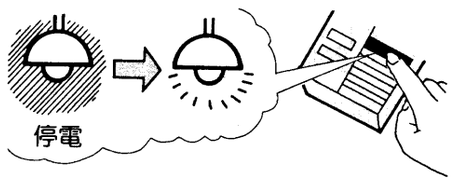
知っておいていただきたいこと

冷房と部屋の熱源

●部屋の中に冷房能力をこえる熱源（部屋の中に多くの人が一度に入り込む・熱器具を使うなど）がありますと，室温調節つまみでセットした温度に到達しないことがあります。

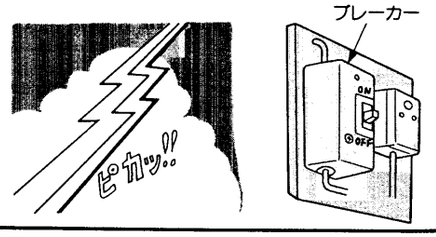
停電したときは

●停電したあと再び電気がきても，保護回路の働きでエアコンは停止したままです。運転を再開するときは，あらためて主操作ボタンを押してください。



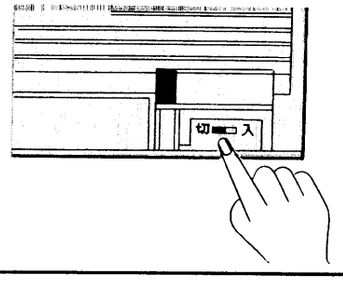
落雷のおそれがあるときは

●落雷のおそれがあるときは，機械を保護するために運転を停止して，ブレーカーや手元スイッチを切っておいてください。



電源スイッチについて

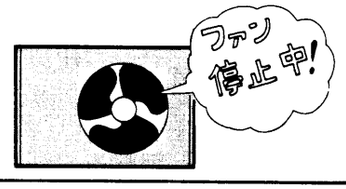
●エアコンを運転しない場合は，電源スイッチを〝切〟にしてください。



室外ファンについて

●暖房運転中，室外ユニットの霜取りを行っているときは運転音がしていても室外ファンは停止します。

●室外電気品を冷却するために，運転を停止にしても室外ファンは10～30秒間運転を続けます。



暖房能力について

●このエアコンは室温が低い場合パワーアップ暖房を行い，１室運転では最大4350kcal/h，２室同時運転では最大5800kcal/hの暖房能力を発揮しますが，エアコン暖房は，外気の熱をくみ上げるヒートポンプ暖房ですので，外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。

●外気温が極端に下がり，部屋が思うように暖まらないときは，他の暖房器具との併用をお勧めします。

エアコン暖房は，部屋全体を暖める暖房ですので，ストーブなどのようにじかに熱に当たることのできる暖房器具に比べ，暖かく感じるまで少し時間がかかります。

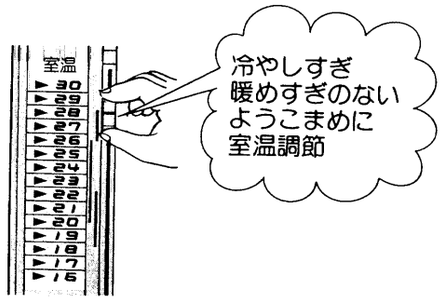
タイマーで早めに運転しておくことをお勧めします。

FAN-181EW

上手な使いかた

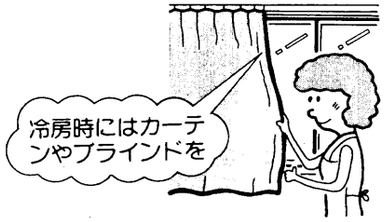
セット温度は適正に

冷やし過ぎ，暖め過ぎは健康上好ましくないばかりか，電気のムダ使いになります。



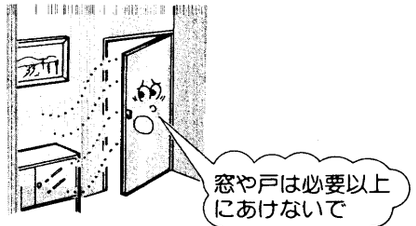
窓にはカーテンかブラインドを

冷房時，直射日光の当たる窓には，カーテンをかけるかブラインドを下ろしてください。



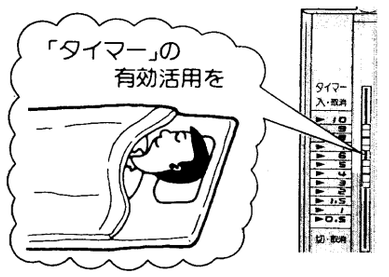
窓や戸はきちんと閉めて

閉め忘れたり，完全に閉まっていなかったりすると，冷気や暖気が逃げて電気のムダ使いになります。



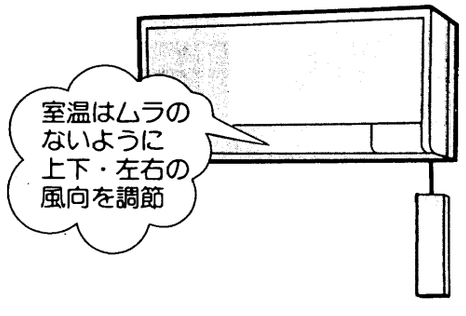
タイマーの有効活用を

夜は〝おやすみ運転〟を，朝は目覚めの時間に合わせて快適温度にしておくなど，タイマーを有効にご活用ください。



室内温度はムラのないように

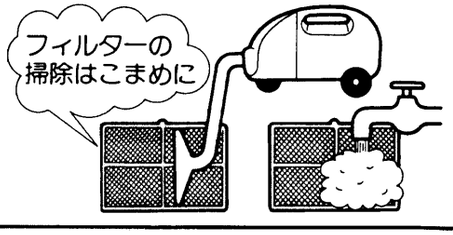
室温のムラを少なくするように風向きを調節してください。



フィルターの清掃はこまめに

フィルターの目づまりは冷・暖房効果を弱めます。

ムダな電気を消費しないためにも２週間に１回は必ず掃除をしてください。



お手入れについて

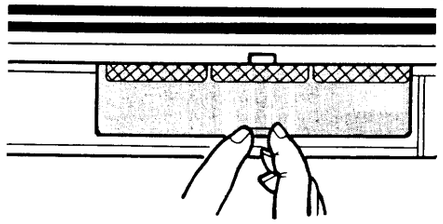
お手入れするときは必ず運転を止めて，ブレーカーや手元スイッチも「切」にしてください。

フィルターの掃除

フィルターにホコリがたまりますと，空気の通りが悪くなり，冷・暖房効果が低下します。次の要領で必ず掃除をしてください。

掃除のしかた

1 上下風向調節板を斜め下向きにし，図のようにつまみを持って，下へ引き出します。



2 フィルターのホコリは掃除機で吸い取るか，汚れがひどいときは中性洗剤で洗ってください。
なお，洗ったあとは日陰でよく乾かしてください。

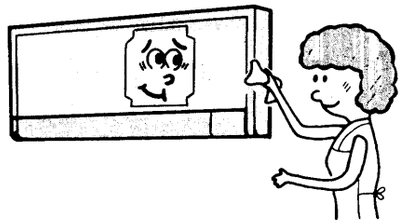
3 元の位置に取り付けてください。

●40℃以上のお湯で洗わないでください。
フィルターが縮むことがあります。

●フィルターをはずしたままで運転しないでください。
機械にホコリが入り故障の原因になります。

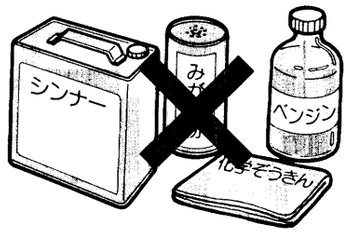
外側の掃除

やわらかい布でからぶきしてください。



●40℃以上のお湯は使わないでください。
プラスチックが変形することがあります。

●次のようなものは使わないでください。
塗装面やプラスチックをいためます。
ベンジン・シンナー・みがき粉・化学ぞうきんなど。

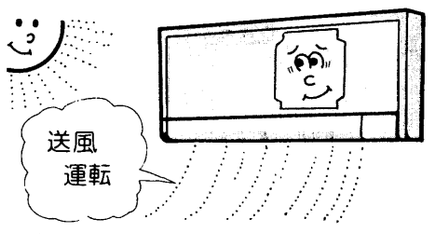


●直接，水をかけて掃除をすることは絶対しないでください。
漏電や感電のおそれがあります。

1ヵ月以上使わないときは

●晴れた日に半日ほど送風運転（運転切換つまみを〝送風〟にする）を行い，エアコン内部を乾燥させてください。

●ブレーカーや手元スイッチも「切」にしておいてください。

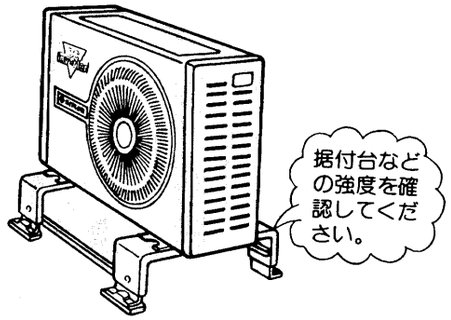


シーズン前のお手入れ

半年～1年に一度定期的に次の点検を行ってください。
もしご不審な点がありましたら，すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

1 アース線がはずれたり，途中で切れていませんか？

2 据付台が腐ったり，さびたりして強度が弱くなっていませんか？



仕　様

形名			室内ユニット	室外ユニット
			RAM-181BW	RAC-361BHM2
電源			単相200V	
定格周波数			50Hz・60Hz共用	
冷房能力(kcal/h)		1室冷房時	2300	
		2室冷房時	1800×2	
冷房面積の目安(m²)	鉄筋アパート南向き洋室	1室冷房時	18	
		2室冷房時	14×2	
	木造南向き和室	1室冷房時	12	
		2室冷房時	9×2	
暖房能力(kcal/h)		1室暖房時	3900	
		2室暖房時	2600×2	
暖房面積の目安(m²)	鉄筋アパート南向き洋室	1室暖房時	20	
		2室暖房時	13×2	
	木造南向き和室	1室暖房時	16	
		2室暖房時	10×2	
運転電流（A）	冷房	1室冷房時	7.2	
		2室冷房時	10.0	
	暖房	1室暖房時	10.4	
		2室暖房時	13.2	
消費電力(W)	冷房	1室冷房時	1250	
		2室冷房時	1760	
	暖房	1室暖房時	1920	
		2室暖房時	2510	
騒音（ホン）			42	51
補助ヒーター（W）			505	——
外形寸法(高さ×幅×奥行)（mm）			365×815×128	520×860×280
製品重量（kg）			10	50

アフターサービスと保証について

1 サービスを依頼されるときは

故障かな？ ……と思ったら，次のことをお調べください。

状　況	次の点をお調べください
運転しないとき	①ブレーカーや手元スイッチが“切”になっていませんか？ ②電源スイッチが“切”になっていませんか？ ③ご家庭のヒューズが切れていませんか？ ④停電ではありませんか？ ⑤他室のユニットが運転停止して3分遅延中ではありませんか？（3分待ちます）
よく冷えないときまたはよく暖まらないとき	①フィルターにホコリが詰っていませんか？ ②室温調節つまみが適正な位置になっていますか？ ③上下風向調節板が適正な位置になっていますか？ ④室外ユニットの吸込口や吹出口を障害物でふさいでいませんか？ ⑤部屋の窓や戸があいていませんか？ ⑥外気温が特に高いか，低くありませんか？（1室のみの運転にしてみます）

以上のことをお調べになり，それでもぐあいの悪いときは，ブレーカーや手元スイッチを切り，すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
販売店名は裏表紙の「お客様メモ」欄に書いておくと便利です。

お知らせいただきたいこと

1形名――RAM-181BW
2故障状態―できるだけ詳しく
3道順――付近の目印も

これは故障ではありません

①ときどき水の流れるような音や，沸騰するような音（ボコボコ）がすることがあります。
これは冷凍機の中の液が流れる音で，停止中も出ることがあります。

②ときどき「プシュッ」という音がすることがあります。
これは冷凍液の流れの方向を変えるためや運転開始のときに弁が作動する音です。

③ときどき「キシ・キシ」という小さな音がすることがあります。
これはエアコン自身が温度変化によって膨張したり収縮するために出る音です。

④冷房運転中やセンサードライ運転中に吹出口から霧が出ているように見えることがあります。
これは低温多湿時に見られる現象で，部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。

⑤エアコンからにおいが出てくることがあります。
これは空気中に含まれたいろいろなにおい（たばこの煙，化粧品，食品など）がエアコンに付着し，それが吹き出すためです。

⑥室外ユニットの運転音の大きさが変わります。
これは室温に応じて圧縮機の回転が変化するためです。

⑦霜取り運転時，室外ユニットから湯気が出ることがあります。
これは熱交換器に付着した霜がとけて蒸発するためです。

⑧1室暖房運転中もう1室を運転した場合，約3～6分間弁切換え動作と予熱のため温風が吹き出しません。

2 アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合，その他お困りの場合は，お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙，「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

3 転居されるときは

ご転居により，お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は，前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

再据付工事のお申込みは――

再据付工事（転居または別の部屋に移動）を販売店に依頼する場合は，できるだけ夏期を避けるようお願いします。
夏期は，販売店の据付工事が忙しく，据え付けが遅れることがあります。
なお，据付工事は専門の技術が必要ですので，お客様自身で行わないでください。
（再据付工事は有料です。）

4 補修用性能部品の保有期間について

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は，製造打切後9年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 保証について

1 **この商品は保証書付きです。**
保証書は，販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから，記載内容をご確認いただき，大切に保存してください。

2 **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**
（ただし，冷凍サイクル部分は3年間です。）
なお，保証期間中でも有料になることがありますので，保証書をよくお読みください。

3 **保証期間経過後の修理については，販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は，販売店からの注文により，補修用性能部品を販売店に供給します。

6 点検整備について

エアコンを数シーズンお使いになりますと，内部が汚れ性能が低下することがあります。
ご使用状態によっては，においが発生したり，ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることもあります。
通常のお手入れとは別に，点検整備（有料）をお勧めします。点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。